

全校朝会の話

皆さん、おはようございます。

今日から3月です。梅の花が咲き、甘い香りが漂ってきて、春らしくなってきました。

最近のきらりを紹介します。

何ととっても学校が美術館に変身していることです。

皆さんの素敵な作品が所狭しと飾られています。

1年生 「お話の絵・ぼんぼん山の月」「お気に入りのセーター」

2年生 「ガムガムライオン」

3年生 「すてきなもようの魚たち」

4年生 「夕焼け空」「世界で一つだけの生き物」

5年生 「ぼく、わたしの風神、雷神」「木版画」「木のパズル」

6年生 「見て、感じて、工夫して～花～」「ほってすって重ねて」「焼き物」

Youtubeの先生方のコメントで、どの作品も一生懸命、仕上げたことが伝わってきました。よく頑張りました。

「いいなカード」で友達の作品をみた感想が伝え合えることもとてもいいです。

作品は5日まで展示されていますので、今週も見てくださいね。

さて、今日は「3月3日 耳の日」についてお話します。

一般の人が耳に関心をもち、健康な耳をもっていることへの感謝、耳を大切にするためによい音楽を聴かせて耳を楽しませてあげるため、そして、耳の不自由な人々に対する社会的な関心を盛り上げるために1956年に制定されました。

なぜ、3月3日が耳の日になったのでしょうか。理由が3つあります。考えましょう。

〈シンキングタイム〉

理由の一つめは、語呂合わせです。3が二つで33（みみ）です。

理由の二つめは、3という字が耳の形に似ているからです。

理由の三つめは、ある人物の誕生日だからです。

では、誰の誕生日なのでしょう。耳に関係がある人です。考えましょう。

〈シンキングタイム〉

電話の発明者「グラハム・ベル」です。

ベルの父親は発音学者、母親が難聴のピアニストであり、奥さんも難聴でした。父親と同じように、ベル自身も発音の伝達を研究しており、これが後の電話の発明につながりました。また、シカゴにろう学校を設立するなど、聞こえの研究に生涯をささげました。

もう一つ有名なエピソードを紹介します。

目と耳に障害がある子どもをもった父親が、子どもの教育について相談するためにベルの元に訪れました。その子には、ある女性が家庭教師につくことになりました。その二人こそ、障がい者の教育・福祉に力を注いだヘレン・ケラーとアン・サリバンでした。ちなみに、ヘレン・ケラーとアン・サリバンが出会ったのも3月3日でした。

今日のお話に出てきた「グラハム・ベル」「ヘレン・ケラー」の伝記を読む機会があるかもしれません。その時は今日のお話を思い出してくれると嬉しいです。

明日「6年生を送る会」が行われます。コロナの関係で体育館に全校が集まって行うことはできないのですが、「6年生に感謝ウィーク」の期間中、各学年で取り組んだことをコンパクトにまとめたものをZoomで各教室で見ます。楽しみですね。1年生から5年生まではお世話になった6年生に感謝の気持ちが伝えられたことと思います。6年生は「あいさつ運動」ありがとうございました。

東京都は、緊急事態宣言がまだ解除されていません。今週もマスク着用、正しい手洗い、三密回避を守って、コロナにはくれぐれも気を付けて頑張りましょう。